

令和 7 年(2025 年)

(一社) 佐久産業支援センター
定時社員総会 議案書

日時 令和 7 年 7 月 15 日

場所 佐久グランドホテル 2F 大会議室

一般社団法人佐久産業支援センター

(一社) 佐久産業支援センター 定時社員総会 次第

日時：令和 7 年（2025 年）7 月 15 日

場所：佐久グランドホテル 大会議室

開 会

1. ご挨拶 代表理事 中川 正人
2. 佐久市市長 柳田 清二

議 事

【承認議案】

- (1) 2024 年度 事業活動報告（案）、収支決算（案）の件
- (2) 2025 年度 事業活動計画（案）、収支予算（案）の件
- (3) その他

閉 会

【承認議案】

議案 1：2024 年度 事業活動報告（案）、収支決算（案）の件

2024 年度においては、新たなビジョン・ミッションに取り組みつつ、企業主体型の運営体制を継続して参りました。また、各ワーキンググループによる活動も事業報告書記載の通り、それぞれ一定の成果を収められました。事業活動の主な内容としては、「SAKU メッセ 2024」を佐久市総合体育館、佐久創造館の 2 会場で開催し、「ぞっこん！さく市」との共同開催もあり、一般市民の来場と合わせ活況を呈しました。

長野県みらい基金の助成金による「ヘル See 佐久プロジェクト」事業も、「ウェアラブル端末によるアプリ開発」が終了し、令和 6 年 5 月から 3 ケ月あたり「実証実験」を行い、貴重なデータ収集とその結果が纏まりました。更に当年度は、「DX 推進事業」も佐久市からの業務委託に伴い、年度後半から実施致しました。主な事業の概要は以下になります。

1. 「SAKU メッセ 2024」開催事業（事務局活動）

令和 6 年 10 月 3 日～6 日の 4 日間に亘って行いました「SAKU メッセ 2024」の開催については、「産学フェア」は佐久市総合体育館で、「健康フェア」は佐久創造館と 2 つの会場に分け開催致しました。「産学フェア」は平日開催となり、小中学生の社会科見学会や、高校生・大学生向けのリクルートの展示から、約 1,503 名の来場がありました。「産学フェア」全体では、一般市民 1,648 人、企業団体 516 人と学生を含め 3,667 人、「健康フェア」は、一般市民、4,020 人が来場され、全体では 4 日間で 7,687 人となりました。

- | | |
|---------------|-----------------------------------|
| (1) 4 日間の来場者数 | 7,687 名（一般 5,668 名、企業・学生 2,019 名） |
| (2) 出展企業数 | 63 企業・団体（117 小間） |
| (3) 体験ゾーン参加者 | 155 名 |
| 交流ゾーン参加企業・団体 | 14 企業・団体 |
| (4) サイトアクセス数 | 97,228 リーチ |
| | 3,688 エンゲージメント（クリック数） |

2. 長野県みらい基金助成金事業（ヘル See 佐久プロジェクト事業）

2022 年 4 月に、長野県休眠預金等活用コンソーシアムに応募し、社会イノベーションを目指す事業として、「ヘル See 佐久プロジェクト（俗称）」、正式名称は「ヘル See 佐久イニシアティブ・コンソーシアム」活動が認可され、3 年目の最終年度を迎えました。

本年度は、助成金 867.9 万円を頂き、5 月～7 月に 111 名の参加を得て実証実験を実施し、そのデータ分析を「信州大学社会基盤研究所」にご協力頂き、結果と提言を頂きました。また、産業支援センターとしては独自に活動報告「気が付いたら健康になっていた」に 3 年間の活動内容をまとめ、助成金事業の締めくくりとしました。今後は、ヘルスケア・エコシステム構築に向けて行政・病院・市民セクタとの役割を共有認識し、新たにステップアップしていく予定です。

3. DX 推進事業

本年度より、新たに佐久市商工振興課からの業務委託により、DX 推進事業をスタート致しました。まず、経営者の DX 推進に対する気運醸成や、デジタル人材の育成の為にセミナー・交流会を 3 回開催しました。また、現状把握・課題整理や関係機関との協議を開始し、DX 推進の為に土台形成を行いました。

4. 2024 年度収支決算（案）について

事業活動報告に基づいた 2024 年度の収支決算につきましては、「SAKU メッセ 2024」及び「ヘル See 佐久プロジェクト活動」を軸に、新たに「DX 推進事業」が加わり、各ワーキンググループ活動、Well-beingWG 活動と共に、決算額は増加傾向にありました。

なお、「地域産業ブランディング支援事業」も、本年も規模は縮小致しましたが、継続して取り組んでおります。

その結果、事業収入の減少と物価高騰による事業推進費の増加影響が有り、コスト削減努力も及ばず、最終決算は昨年につき「赤字」となってしまいました。その主な理由の事業収入の減少ですが、特に「補助金申請」に伴う手数料が「ゼロ」となってしまった点と、ワークライフバランス事業参加企業の減少が影響しており、当初予算を大幅に下回った事にあります。

一方では、「SAKU メッセ 2024」の負担金（元気づくり支援金）等の立替払や、他の補助金（地域産業ブランディング支援事業、DX 推進事業）の同様部分が有り、資金的には一時資金として、2024 年 9 月 6 日に、八十二銀行岩村田支店様より 2000 万円の借入を行いました。（当借入金は、2025 年 4 月 30 日に一部の 1000 万円の返済と、4 月～8 月迄 5 ケ月間に亘り、200 万円/月の分割返済中です）

また、中間監査を、2024 年 11 月 22 日に行って頂き、2025 年 5 月 26 日には期末監査を、臼田監事、木内監事行って頂きました。この結果につきましては、「監査報告書」にて内容を詳細に記載してありますのでご確認下さい。

各事業概要は上記メイン事業を含め、「2024 年度事業活動報告（案）」に記載してあります。ご確認の上、ご承認をお願い致します。

【添付資料 1・2】

1. 2024 年度 事業活動報告（案）
2. 2024 年度 収支決算（案）

議案 2：2025 年度 事業活動計画（案）、収支予算（案）の件

1. 事業活動計画（案）の件

既に「2025 年度 事業活動計画（案）」については、令和 7 年 3 月 31 日の理事会（書面表決）にてご承認を頂き進捗中ですが、簡潔にご説明致します。2025 年度においても、例年に引き続き企業主体型の運営体制にて事業を継続していくのと同時に、「SAKU メッセ 2025」開催事業、2 年目となる「DX 推進事業」、と新たにジェンダーギャップ解消支援事業を加え、各種ワーキンググループ活動と一緒に進めて行きます。

なお引き続いて規模縮小にはなりますが「地域産業ブランディング支援事業」も佐久市の補助の下継続して参ります。

2. 収支予算（案）の件

「2025 年度の収支予算（案）」につきましては、事業活動計画（案）同様前回理事会で承認を頂いておりますが、その概要及び変更点についてご説明致します。

本年は、「SAKU メッセ 2025」開催は長野県の「元気づくり支援金」終了に伴い、金額規模的には縮小した予算で検討してあります。一方「DX 推進事業」の業務委託費も前年の 1.6 倍弱の 1900 万円で予定し、ジェンダーギャップ解消支援予算 470 万円も新たに追加となりました。

一方では、地域産業ブランディング支援事業は、前年比 40%減での計画となり、長野県みらい基金助成のよる「ヘル See 佐久プロジェクト活動」も、3 年を終了した時点での総予算検討から、「ほとウエル」等の開発費予算の減少に伴い、一旦受領しました助成金からの返却が生じ、約 400 万円返却を見込んでの緊縮予算編成となりました。

上記の状況を踏まえ、現在進めています補助金/助成金を加減しての予算になります。以上、ご承認をお願いします。

【添付資料 3・4】

3. 2025 年度 事業活動計画（案）
4. 2025 年度 収支予算（案）

議案３：その他

株式会社サワイ様は、経済産業省主催の「健康経営優良法人 2025 ブライト 500」を、3年連続して取得されました。長野県では10社認定され、3年続けての受賞・認定となりました。

また、本年度新設されました「健康経営優良法人 2025 ネクストブライト 1000」にも、当センター会員であるアルファデザイン株式会社、ゴコー電工株式会社の2社が受賞されました。

以上